数理解析研究所講究録 1084

数値計算における前処理の研究

京都大学数理解析研究所 1999年2月

数値計算における前処理の研究

研究集会報告集

1998 年 11 月 9 日 – 11 月 11 日 研究代表者 杉原 正顯 (Masaaki Sugihara)

目 次

1.	台形則により得られる scaling 係数, wavelet 係数の誤差解析
2.	Durand-Kerner 法および Ehrlich-Aberth 法の近似解の挙動について
3.	(t, m, s)-net による数値積分の誤差評価
4.	連続 Euler 変換と Fourier 積分の収束の加速
5.	無限級数に基づく多数桁計算の演算量削減を実現する分割有理数化法60 後 保範 (Yasunori USHIRO, 日立・汎用コンピュータ) 金田康正 (Yasumasa KANADA, 東大・大型センター) 高橋大介 (Daisuke TAKAHASHI, 同上)
6.	デフレーションを前処理とする GMRES(m) 法
7.	Heritage of Original Matrix from its Preconditioner in the Convergent Splitting 87 岩崎義光 (Yoshimitsu IWASAKI, 岡山理大・総合情報)
8.	有限要素離散化 Stokes 方程式に対する反復解法
9.	Finite Element Analysis for Parametrized Nonlinear Equations around Turning Points
10.	3次元単体メッシュ生成の課題 —計算幾何学の立場から— 【特別講演】124 杉原厚吉 (Kokichi Sugihara, 東大・工)

11.	前処理付き定常反復法【特別講演】 仁木 滉 (Hiroshi NIKI, 岡山理大・総合情報))	.135
12.	渦運動に対する高速数値計算法【特別講演】 坂上貴之 (Takashi SAKAJO, 名大・多元数理)	. 154
13.	変形領域における Helmholtz 方程式の数値解法と吸音板の最適設計	. 177
14.	管路の流れの 1 次元非定常流モデルに対する差分近似について	185
15.	時間二階微分項と変分導関数を含む偏微分方程式の差分スキーム	193